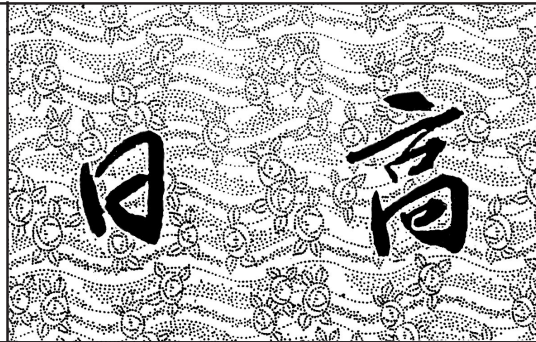


日高地区概況

令和7年10月1日現在
世帯数 9,200
人口 20,462
男 9,958
女 10,504

※この概要は日高支所管内の統計による



第227号

発行日 令和7年11月1日
発行 日高学区市民自治会
https://hitaka.hitachi-community.jp
代表者 志賀 勝弘
編集責任者 田所 剛
印刷 CRAFT おぎつ

会場が一つの輪に 盛り上がった日高敬老の集い

9月15日敬老の日に日高交流センター体育館において「ひたか敬老の集い」が開催され、80歳以上の100名の高齢の方が集いました。この催しは、昨年より日高学区独自に企画・運営しているものです。日立市では「日立市敬老長寿お祝いの事業」として、80歳、85歳と90歳以上の方にお祝いの品をお贈りすることになっていますが、市民自治会

では、地域ぐるみで先輩方を敬いお祝いするべきだろうというところで昨年度から始まりました。今年の集いも、前日までの準備、当日の運営に地域の多くの団体、そして「こどもいえ認定こども園」、日高小学校の協力を得て行うことができました。当日は、好天に恵まれ徒歩や家族の送迎で参加者が会場に集まってきました。



シルバーリハビリ体操で身も心もほぐれました

体育館の玄関で日高小学校の子どもたちを迎えられ、記念撮影をとってもらい、席まで案内されました。「○○ちゃん、こっちは○○ちゃん、ひさしぶり」という声が飛び交いました。集いは、主に主催者、挨拶として、志賀勝弘実行委員長から歓迎の言葉と集いの趣旨の話があり、

来賓の方からのお祝いの言葉、そして二名の小学生の感謝の言葉を綴った作文の朗読、休憩をはさんで演芸の部に進みました。

演芸の部ではまず「こどもいえ認定こども園」の演技によるかわいいういさーダンスと折り紙のプレゼント。皆さん、うれしそうに顔で受けとっていました。続いてシルバーリハビリ体操、全員で体を動かし声



子どもたちと笑顔で会話

二回目の日高敬老の集いを振り返って

後日、実行委員会が開かれ、おもてなしや運営について話し合いがもたれました。「概ねよかった」という意見が多かったが、いくつかの課題も出ました。なかで、特に大きな課題として挙げられたのは、学区内には1000名を越す80歳以上の高齢者がいるに

て考えられるのは、遠く会場まで歩いていけない、誰かに送迎を頼むにも遠慮から頼めないのではないか、という話になりました。今すぐとはいかないが、何らかの対策を講じなければならぬのではないかと、実行委員会として考えています。

もかわらず、参加者が1000名だったことです。

を出しました。最初は照れた様子でしたが、だんだん張りのある声が出、体の動きも伸び伸びしていました。最後は、埼玉県美里町の木部おじさんの太鼓と美里彩の獅子の舞で大いに盛り上がりしました。そのあと、三体の獅子が会場の参加者の間を回り、全員が頭を噛んでもらいました。「楽しかったです」などの感想が多く聞かれました。今年もお土産と写真が贈られました。



元気な子どもたちに目を細めて

行事予定

(11月1日～12月末日)

日高学区市民自治会
○再生資源拠点回収
11月23日(日)

12月 回収なし
1月25日(日)

日高交流センター
○日立魅力再発見ウォーク
11月23日(日) (中止)

○折り紙教室
12月11日(木)

日高交流センター
○交流センター大掃除
12月13日(土)

日高交流センター
○わら細工教室
12月21日(日)

日高交流センター
○日高文化協会
11月1日(土)～3(月)

日高交流センター
○三世代文化祭
11月1日(土)～3(月)

状況により行事が中止になる場合があります。

広報日高発行日の変更について

前号(第226号)の広報日高において、発行日を奇数月の1日発行にする旨ご連絡いたしました。自治会の主な行事と広報紙の発行日までの期間を空けずになるべく迅速に記事をお届けするという観点で見直しを行った結果、偶数月の1日発行へ再度変更を行うこととします。

つきましては次号は年明けの2月1日発行となりますのでご了承ください。

新たな再生資源集積所の運用始まる



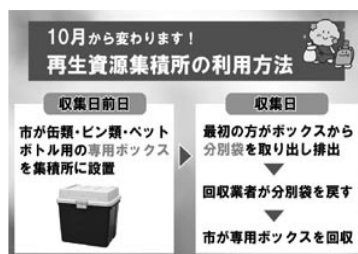
変更された再生資源集積状況

10月1日、新しい再生資源集積所の運用が、日高学

運用始まる

区が最初に開始された。地域の集積所では前日に配置された資源回収用用具ボックスからそれぞれに利用者が専用の袋を取り出し分類して排出していた。学区内全体を見回っていても、地域のマナーの良さの表れなのか、雨天が影響したか、不適正排出物はほぼ見られなかった。集積所によつては、いつも出している場所の排出状態が心配で整理したり、見守ったりし

ている人もいるところも見られた。業者の回収が終わった後に地域の方が集積所の清掃をしている場所もあり、日高住民の心意気が感じられる場面にも遭遇した。



日高学区高連 合同懇親会実施



皆さん表情がいいねー 懇親会を終えて

日高学区の2つの高齢者クラブ（日高新生GGC・NEW自然山ふれあいの会）の高齢者クラブ連合会（以下高連）の合同懇親会を10月1日常陸太田市の横川温泉中野屋旅館で会員24名の参加により実施しました。中野屋旅館の送迎バスに揺られ和気あいあいの中、旅館に到着しました。

当初、旅館の特設会場でグラウンドゴルフを実施し、その後、懇親会を実施する予定でしたが、あいにくの雨のためグラウンドゴルフは中止となってしまいました。予定を変更し、館内で自己紹介の後、舟生さんの指導による振り込め詐欺防止の替え歌、簡単なカード手品などで盛り上がり、その後、ビンゴゲームを行いました。懇親会では、特に、カラオケを楽しみました。長年鍛えた喉は相当なもので皆さん歌の上手な方たちばかりでした。宴もたけなわの中、閉会となり帰路につきました。高連には高齢者間の交流を通じた仲間づくりや健康増進の効果が期待できます。高齢者の皆さんの入会をお待ちしております。

健康体操で 日常を前向きに

リズムカルな音楽に軽快な足音と掛け声。毎週水曜日の午後は、お揃いのピンクのユニフォームを着た白髪もオシャレな日立健康教室の女性たちで交流センター体育館が華やかになります。体操と言ってもラジオ体操やストレッチではなく、音楽に合わせて軽やかにステップを踏んで、腕も併せて動かす。30名を超えるメンバーで80代後半の方も元気にステップ&ストレッチに汗を流します。「日高学区の女性たちは他の地区よりも本当に元気でパワフル。続ける事が本当に大事」と話す講師の増子千代美先生。

小さな輪 大きな輪

おぎつ山森の会

森の会の活動メンバーは現在7名、毎月第4土曜日の午前中、小木津山自然公園内の植生等の観察と調査、加えて繁殖期・越冬期の野鳥やカエルの調査などを年間20日ほど行っています。

調査結果は年2回、日本自然保護協会に報告され、全国のデータとともに生物多様性保全施策のほか環境教育や学術研究の基礎データとして活用されているそうです。

8月の観察会に同行させていただき、メンバーの皆さんの植物や鳥類に対する情熱と知識、そして通常では見過ごしてしまう草花や木の実などが子々を慈しむように愛でる姿に、観察、調査の範疇を超えた愛情を感じました。

当初は小木津山自然公園の里親として活動を始めたそうですが、現在は会員の高齢化もあり、これらの調査とカタクリ等の希少植物の保全調査と整備作業等を行っています。

生き物たちの姿をしっかりと見つめ、多くの生き物たちが生き生きと暮らせる自然豊かな公園になるよう、毎回楽しく活動しているようです。

毎月の観察や調査は経験や知識が無くても随時参加を受け入れているそうで、興味がある方は交流センターまでお問い合わせください。（田所 剛）



若さがはじけそうな皆さん

今は体力測定に向けて、握る動作を強化中。百均で買ったボールで握力の強化を行っています。握力は全身の筋力の衰えの指標。たそう。全身にも影響があるそうなので、しっかりと鍛えて楽しく元気に過ごしたいですね。続けることでペットボトルのフタが開くようになった、歩くのが楽になったとの声も。日高地区の皆さん

日高で体験しよう! これからのイベント

日高学区では、一年を通じて様々なイベントが交流センターを中心に行われています。年末年始の行事を紹介いたします。

三世代文化祭

11月1日〜3日まで開催されています。日高学区の人々が作成した作品の展示や演奏などが行われます。地域の文化活動の発表の場です。門松づくりとわら細工、経験したことのない人も、手作りしめ縄飾りを作る

ことが出来ます。12月後半に行われます。新春初顔合わせ 日高の年初めの賀詞交歓会です。12月より参加者を募ります。

日高鳥追い祭り

どんど焼き、餅つきや昔遊びなど、日本の伝統行事を体験できるイベントです。地域の皆さんの参加を待ちしています。交流センターだよりでも案内します。1面行事予定をご確認ください。



各地区のおげんきクラブ 秋の旅行を楽しむ

日高学区市民自治会社会福祉委員会では、65歳以上の高齢者を対象に学区内7か所の集会所で、介護予防やふれあいを目的とした近

所の集いの場、ふれあいサロン事業（おげんきクラブ）を実施しています。近頃の集会所で体操や音楽やゲーム、おしゃべりなどを楽しみながら楽しい時間を過ごしています。年に1度の日立市福祉バスを利用した日帰り旅行もお楽しみの一つです。



笠間稲荷神社拝殿前にて

春のバス旅行を楽しんだサロンもあれば、秋が訪れ「紅葉や秋の味覚を楽しむ」と、笠間方面、いわき方面、大子方面へ旅行を計画しているサロンもありました。

地域限定振興券を使用しましたか？

日高学区にお住まいで、年度内に80歳、85歳、90歳及び91歳以上となる方を対象に、日立市敬老長寿お祝い事業により3000円相当の「地域限定振興券」が贈られました。

「地域限定振興券」は、令和7年11月30日までの利用期限がありますので、お早めにご利用ください。

なお、利用できる協賛店は次の10店舗です。

- ◆ 神峰スポーツ
- ◆ お茶と海苔の大宮園
- ◆ 玉喜屋支店
- ◆ 日立和洋菓子いちかわ
- ◆ ヘアスタイリスト サロンエルム
- ◆ ウエルシア薬局 日立小木津店
- ◆ たかいそ海岸歯科
- ◆ あおい化粧品
- ◆ フラワーハウス ワタナベ本店
- ◆ エイトスタジオ 日立北店

松ヶ丘ふれあいサロンは、10月3日、一足先に笠間方面へ出かけました。ボランティア

旬の花巡り 〜ヒガンバナ〜

お彼岸明けの9月下旬、西町地区を歩いて田園風景を眺めました。川沿いの道端に、田んぼの土手やあぜに、そして空地にと真赤なヒガンバナの最盛期です。昨年までは、東連津川の中山橋付近から常磐線との間の田んぼの土手やあぜに見事なヒガンバナが群生していました。今年、今年は整地されてその光景が見られませんが、ヒガンバナが田のあぜや



西町に咲くヒガンバナ

投稿記事募集

土手に多いのは、野ネズミやモグラが穴を開けるのを、毒性のある球根が防ぐのだらうと言われています。ヒガンバナはマンジュシヤゲとも呼ばれています。法華経の「摩訶曼陀羅華經沙華」から出たといわれ「天上の花」、「赤い花」の意味だそうです。訪れる人も少ない墓地の中に、燃えるように咲いていて、地下に眠る仏たちに捧げ、彼岸を知らせているかのようです。近隣では、常陸太田市の源氏川沿いの川堤約1kmに渡って、地域の方々が美しいヒガンバナを育てており、多くの人々にぎわいます。

広報日高では、読者の皆さんからの投稿を紹介するコーナー「みんなの広場」を開設しました。

このコーナーでは地域の皆さんへ伝えたい情報や感想、そしてご自身で作られた俳句、短歌、川柳、写真、イラストなどを取り上げたといっています。

もし、投稿されたい題材がありましたら、3000字程度にまとめ以下の方法で広報部宛てにお寄せください。

・投稿箱（交流センター入口に設置します）への投入
・自治会HPへのメール送信
・交流センター窓口への持参
なお、投稿については原則としてお名前を記載させ

文藝ひたか

日高短歌会

銘坂はすてきな響きの柘榴坂仇討ち有りしか天保の世に

百の花の品種改良の次々とバラのごとしも香りは百合に

定年の年より毎年外国へ行きし十年夢のごとしも

玉音を伏して涙の母の背にただ泣きじやくりしと嬰兒のわれ

マウンドに駆け寄るナイン白き歯のこぼれんばかりに拳天衝く

暑い夏に民の力の風吹きて選挙の後の方向決まらず

四十回おんもさ祭りのライブ聴く安達勇人のリズムの熱き

夏風邪かはたまた疲れか気怠さに夜の灯りを早々と消す

大雨に打たれるように転倒す自転車夫の魔の午後三時

短冊に世界平和の文字おどる画像の奥に届けとばかり

猛暑日は濃い紫の日本地図 北海道から九州までが

短歌会員のお誘い

大塚洋子先生のご指導のもと毎月第二土曜日の午後一時からです。

楽しいひと時を一緒にしませんか？

連絡先 代表 尾羽千恵（四二一六二七二）

で決定させていただきます。

詳細については広報部までお問い合わせください。

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。

また、掲載可否について

は、広報部内での編集会議

「みんなの広場」 おぎつ山だより

2023年9月の大雨以降閉鎖されていた駐車場が今年4月から使用できるようになり、一部を除いて開園しています。松枯れ・ナラ枯れに侵されながらもなんとか暑い夏を乗り越え迎えた紅葉の秋。錦の着物を着て華やかにオシャレをします。可愛い花も咲いています。北の国からは冬鳥の客さんがやって来ますよ。のんびり秋を楽しみましょう！（おぎつ山森の会 益子芳江さん）

地域環境を大切に 東連津川清掃活動



汗を流して草を除去

9月27日に、今年度3回目の東連津川清掃が実施されました。いつもより参加者が少ないながら、今回は市の職員のコミュニティ活動研修者3名を迎えて総勢49名が参加しました。初秋の季節に入ったとは



きれいになった川べり

いえ、まだ強い日差しで暑さが残っている中、熱中症対策として適切に水分の補給や休憩をはさみ、草刈りやゴミの収集作業に汗を流しました。伸びてしまった蔓性草が草刈り機の歯に絡みつくなど大変な作業もありました。

作業後の川べりは見違えるようにきれいで、歩行にも便利となりました。

ふるさと 郷土

ひたか (31)

日高地区の野仏

日高学区内の道沿いには所々に小さな野仏が立っている。

そこで、これから何回かにわたり地元に残る野仏を取り上げてみたい。

それに先立ち今回は、日高学区内にどのような種類の野仏があるのかを、日立の野仏や遺跡などに詳しい大森政美さんに伺った。

野仏の種類

野仏には、石仏や文字塔がありますが、石で造られた仏像を「石仏」、五輪塔や民間信仰の文字塔などを「石塔」と呼称しています。

に至っています。

「子どもたち一人ひとりは、その子ならではの長所がある、そのがんばる姿を認めて褒めて伸ばしてあげたい」また、「授業では、わかった、できたという喜ぶ笑顔に多く触れたい」そんな思いを、信条としていると教えてくれました。

温かい保護者、それに日高学区市民自治会を中核とした地域の団結力、チーム力にも感銘されていました。

趣味を尋ねますと、健康管理を兼ねて「ヨガとモルック」に興じているそうです。開放的・フレンドリー・包容力を感じ取れた校長先生でした。
(豊田賢一)

あの人 この人

日高小学校校長
なかぐさ ゆかり 佳さん
(54歳)



一人ひとりの長所を伸ばす

取材に訪れたその日は、何人かの先生方と一緒に昇降口で下校指導をされていたフットワークの軽い中嶋由佳校長先生がいました。

先生は、日高小は母校で小学生の頃、大障害やシーソー等の遊具で遊んだ思い出を語ってくれました。現在は川尻町にお住まいです。

東連津

昨年還暦を迎え「第二の人生何かしたい」と意気込んでいたものの気が付けば何もしないまま一年が過ぎていました。

退職後は地域活動に参加して社会との繋がりを維持続けたいと考えていました。そんな中、幸いにも友達から日高学区市民自治会に入ってみない

第二の人生スタート

青少年育成部
永山路子

かと誘いがあり、待つていましたとばかりに即快諾。自治会に所属させて頂くことになりました。おんもさ祭りなどの行事や打合わせに参加する中で地域の方々と関わる楽しさと嬉しさを実感しています。

定の神仏の掛け軸を掛け燈明し線香をあげ、五穀豊穡、家内安全、安産子安子育て等々を祈願する場とともに、飲食歓談しながら親睦を深める場もありました。

山岳信仰塔は、湯殿神社や御岩神社登拝した人たちが（講中）が、その記念に建てられたものです。

日立球友クラブ全国初Vに 地元の人も活躍

9月19日から23日にかけてノールホームスタジアム水戸において第33回全日本古希軟式野球大会が開催され、全国から44のチームが出場して熱戦が繰り広げられました。

「日立球友クラブ」はトーナメント戦の6試合を勝ち抜き、全員70歳以上の古希チームでは初めて優勝旗を手に入れました。

編集後記

今号では「ひたか敬老の集い」が開催された様子を記事にした。日高には多くの高齢者が住んでおり、これからも健康に長生きしてもらいたいものだ。

10月からは再生資源の回収方法が変更となった。事前の説明会や広報紙などが効果を出して切り替えがうまくいくことを願う。

尚、自治会独自の回収はこれまで通り実施。（山口哲司）